

法玄寺報 第55号 令和7年夏 (2025年)

ふもと 織姫山の麓から

鐘楼の再建

101万円 10以上の寄付をお願いします

当山は明治18年に火災により堂宇伽藍をすべて焼失しました。その後、まず本堂や庫裡を再建し、最後に鐘楼が明治32年に再建されました。

この鐘楼も老朽化が進み、これまで屋根の修復や土台の石の張り直しなどの応急措置でしのいできました。しかし鐘楼を支える柱や、柱と柱を結ぶ貫などが老朽化してきたうえ、土台の石も風雨により劣化してもひびが入っています。

平成20年からの墓地境内の整備事業では、老朽化したうえ幅が狭く車の通過が難しい山門は再建しました。しかし鐘楼については余裕がなく、再建は見送らざるを得ませんでした。その後鐘楼の再建について準備を進め、このたびようやく再建のてはすが整い、新年の役員総会でも承認されました。

鐘楼は今年から着手して、来年春に竣工の予定です。来年の5月末には先代住職の良信上人の13回忌を予定しており、その際に鐘楼



現在の鐘楼

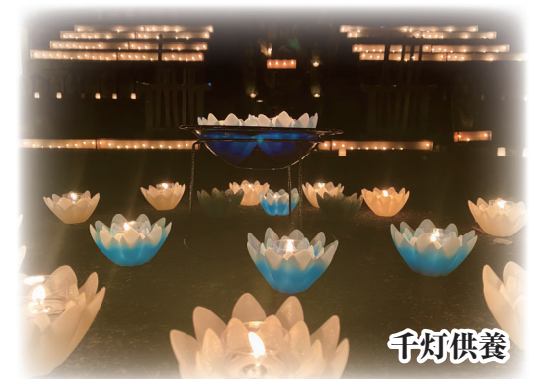
の撞初式を行いたいと思います。

なお再建につきまして、檀家の皆様には101万円、10以上の寄付をお願いします。同封の郵便払込票にてお申し込み下さい。皆様、ご協力をよろしくお願い致します。



百万遍修行

恒例の秋の夜の行事である千灯供養を一切精霊祭壇前で行い、つづいて本堂で百万遍修行を行います。その後、能楽師の和久莊太郎さんによる能の夕べを行います。無料でどなたでも参加できますので、皆さまお誘い合わせうお越しください。



千灯供養

日時 10月4日(土)

6時 千灯供養

6時半 百万遍修行

7時 能の夕べ

(雨天の場合には、6時半からの百万遍修行から行います)

場所 法玄寺 境内と本堂

能楽師 和久莊太郎さん

参加費 無料

駐車場 足利大学本城キャンパス駐車場、織姫神社前駐車場
 ※境内には関係車両しか入れません



和久莊太郎さんの能の舞

ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報

第55号

令和7年夏
(2025年)

鐘楼の再建



101万円 10以上の寄付をお願いします

当山は明治18年に火災により堂宇伽藍をすべて焼失しました。その後、まず本堂や庫裡を再建し、最後に鐘楼が明治32年に再建されました。

この鐘楼も老朽化が進み、これまで屋根の修復や土台の石の張り直しなどの応急措置でしのいできました。しかし鐘楼を支える柱や、柱と柱を結ぶ貫などが老朽化してきたうえ、土台の石も風雨により劣化してもひびが入っています。

平成20年からの墓地境内の整備事業では、老朽化したうえ幅が狭く車の通過が難しい山門は再建しました。しかし鐘楼については余裕がなく、再建は見送らざるを得ませんでした。その後鐘楼の再建について準備を進め、このたびようやく再建のてはずが整い、新年の役員総会でも承認されました。

鐘楼は今年から着手して、来年春に竣工の予定です。来年の5月末には先代住職の良信上人の13回忌を予定しており、その際に鐘楼

の撞初式を行いたいと思います。

なお再建につきまして、檀家の皆様には101万円、10以上の寄付をお願いします。同封の郵便払込票にてお申し込み下さい。皆様、ご協力をよろしくお願いします。



現在の鐘楼

法玄寺

千灯供養と百万遍修行&能の夕べ



百万遍修行

恒例の秋の夜の行事である千灯供養を一切精霊祭壇前で行い、つづいて本堂で百万遍修行を行います。その後、能楽師の和久莊太郎さんによる能の夕べを行います。無料でどなたでも参加できますので、皆さまお誘い合わせうえお越しく下さい。



千灯供養

日時

10月4日(土)

6時

千灯供養

6時半

百万遍修行

7時

能の夕べ

(雨天の場合には、6時半からの百万遍修行から行います)

場所

法玄寺 境内と本堂

能楽師

和久莊太郎さん

参加費

無料

駐車場

足利大学本城キャンパス駐車場、織姫神社前駐車場
※境内には関係車両しか入れません



和久莊太郎さんの能の舞

野点とお箏の演奏会



去る4月29日の昭和の日に、恒例の春の野点を行い、その後本堂にてお箏の演奏会を行いました。

この日は晴天で暑いくらいで、緋毛氈を敷いた長イスに座る人とともに日陰にいる人もみられました。青空が広がりましたが風が強く、残念ながら野点率は建てられませんでした。ただ天気がよいこともあって、百人近い人たちが集まり野点は大盛況で、用意したお干菓子足りなくなり追加するほどでした。

その後、本堂で絵夢の会によるお箏の演奏会を行いました。多くの人が来場したため、立ち見の人でもました。4つのお箏と篠笛による華やかな演奏が、本堂に響き渡りました。お箏の定番の曲から松任谷由実さんやジブリまで、幅広い曲を演奏して本堂に入った多くの人々を魅了しました。



本堂でのお箏の演奏会

櫟の枝打ち



山の墓地にある大きな櫟の枝が枯れて、落下することが危惧されました。枝といっても太く、小さな木の幹以上もありそう、落ちると下にある墓地を損傷する恐れがあります。そこで枝打ちについて2社の相見積もりを取り、フォレストライフに依頼しました。

実際の作業では、切った枝が落下して墓地を傷つけないよう、木に登った作業員がロープで枝を固定してチェーンソーで切り、ロープに吊り下げて下に降ろしました。吊るし切りという切り方で、熟練した作業員でないとできない仕事です。下に降ろしてみると、枝と言っても直径が30センチを超える太さであり、落下したら墓地を損傷するところでした。

近年、温暖化の影響で墓地にある櫟や榎の木が、さらには幹まで枯れることが多く、管理が大変になってきています。皆様の護持会費のおかげで、何とか木々の維持ができております。



櫟の枝打ちをしました

垣根の再建



内庭にあった木の穂先と竹で作った垣根が、昨年末に老朽化のため倒れてしまいました。できてから9年も経ち、垣根を支えていた地面に接する木の支柱が朽ちてしまいました。

同じ様式で垣根を再建しようと思いましたが、材料である木の穂先が入手できません。そこですべて竹を用いて垣根を再建することにしました。近年、竹のように見せるプラスチックでできた垣根がよく見られます。しかしプラスチックでは

寺院らしい風格がありません。そこで費用はかかりますが、本物の竹を組んで垣根を作ることになりました。



新しく再建した竹垣



倒れたこれまでの塀

令和6年度の会計報告



昨年度の管理費と護持会費の決算報告をします。

A. 管理費の会計報告

収 入	537/572家	7,619,000円
支 出		7,561,499円
支 出 内 訳	庭園管理費	2,491,100円
	墓地管理費	1,870,720円
	清掃委託費	1,952,500円
	宮繕費	978,600円
	備品消耗品費	87,777円
	通信費	180,802円
差 額		57,501円
繰 越 金		1,429,625円
合 計 差 額		1,487,126円

B. 護持会費の会計報告

収 入	539/577家	1,653,000円
支 出	(樹木の維持管理)*	1,826,000円
差 額		▲173,000円
繰 越 金		2,175,239円
残 高		2,002,239円

*クビアカツヤカミキリムシ対策とナラ枯れ病による伐採費など

垣根の再建



内庭にあった木の穂先と竹で作った垣根が、昨年末に老朽化のため倒れてしまいました。できてから9年も経ち、垣根を支えていた地面に接する木の支柱が朽ちてしまいました。

同じ様式で垣根を再建しようと思いましたが、材料である木の穂先が入手できません。そこですべて竹を用いて垣根を再建することになりました。近年、竹のように見えるプラスチックでできた垣根がよく見られます。しかしプラスチックでは

寺院らしい風格がありません。そこで費用はかかりますが、本物の竹を組んで垣根を作ることになりました。



新しく再建した竹垣



倒れたこれまでの堀

A. 管理費の会計報告

収 入	537/572家	7,619,000円
支 出		7,561,499円
支 出 内 訳	庭園管理費	2,491,100円
	墓地管理費	1,870,720円
	清掃委託費	1,952,500円
	宮繕費	978,600円
	備品消耗品費	87,777円
	通信費	180,802円
差 額		57,501円
繰 越 金		1,429,625円
合 計 差 額		1,487,126円

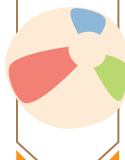
B. 護持会費の会計報告

収 入	539/577家	1,653,000円
支 出	(樹木の維持管理)*	1,826,000円
差 額		▲173,000円
繰 越 金		2,175,239円
残 高		2,002,239円

*クビアカツヤカミキリムシ対策とナラ枯れ病による伐採費など

昨年度の管理費と護持会費の決算報告をします。

令和6年度の会計報告



野点とお箏の演奏会



去る4月29日の昭和の日に、恒例の春の野点を行い、その後本堂にてお箏の演奏会を行いました。

この日は晴天で暑いくらいで、緋毛氈を敷いた長イスに座る人とともに日陰にいる人もみられました。青空が広がりましたが風が強く、残念ながら野点傘は建てられませんでした。ただ天気がよいこともあって、百人近い人たちが集まり野点は大盛況で、用意したお干菓子足りなくなり追加するほどでした。

その後、本堂で絵夢の会によるお箏の演奏会を行いました。多くの人が来場したため、立ち見の人でもでした。4つのお箏と篠笛による華やかな演奏が、本堂に響き渡りました。お箏の定番の曲から松任谷由実さんやジブリまで、幅広い曲を演奏して本堂に入った多くの人たちを魅了しました。



本堂でのお箏の演奏会

櫟の枝打ち



山の墓地にある大きな櫟の枝が枯れて、落下することが危惧されました。枝といっても太く、小さな木の幹以上もありそうで、落ちると下にある墓地を損傷する怖れがあります。そこで枝打ちについて2社の相見積もりを取り、フォレストライフに依頼しました。

実際の作業では、切った枝が落下して墓地を傷つけないよう、木に登った作業員がロープで枝を固定してチェーンソーで切り、ロープに吊り下げて下に降ろしました。吊るし切りという切り方で、熟練した作業員でないとできない仕事です。下に降ろしてみると、枝と言っても直径が30センチを超える太さであり、落下したら墓地を損傷するところでした。

近年、温暖化の影響で墓地にある櫟や榎の木の枝、さらには幹まで枯れることが多く、管理が大変になってきています。皆様の護持会費のおかげで、何とか木々の維持ができております。



櫟の枝打ちをしました